

#### 会長の挨拶 33 例会出席—その 8—

最後にホーム・クラブの出席とメイク・アップの価値をどう見るかという困難な問題がある。これは国際ロータリー理事会も決定を下していない問題なのであるから、結局は各ロータリアン個人の見解によって異なってくる。或るロータリアンは地域社会への奉仕を重視しホーム・クラブ100%至上主義である。この立場は結構であるが、この立場を純粋に尊重すれば、他クラブの慣例を見学する機会を奪われるという問題がある。また、ロータリアンの活動は世界を結ぶ奉仕活動であると考えれば、世界中どこのクラブで啓発を受けても同じことという考え方も生まれよう。そして恐らくこの両極端の間に千差万別の可能性が含まれるように思われるのである。それから、ホーム・クラブの出席100%を以て任務すでに完了せり、という態度も今一つ領けない要素がある。例会出席は幾らしても悪いということはないのである。自己のクラブにも奉仕し、他クラブからも啓発を受けることは立派なことに違いない。この種の記録樹立を行った人が二人いる。一人は横浜東クラブ沖山明一が 1173%の世界新記録を樹立した。もっとも、この場合ホーム・クラブ例会数月三回の月を選んでの記録樹立であって、例会数は大体月 4~5 回であるから、これは記録作りのための作意が感ぜられなくはないが、これ程までに成らなくても、或る程度の他クラブ訪問は健全なクラブ活動のように思われるのである。

(小堀憲助著 『ロータリー思想の理論構造』より引用)